

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-2-017
補助事業名 平成26年度 障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
補助事業者名 特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

精神障害に対する正しい知識の普及活動を行い、もって社会福祉の増進に寄与する。

(2) 実施内容

①精神障害啓発冊子の作成・配布

- 1) 対象：精神障害者とその家族、支援者、保健福祉関係者、医療機関及び一般の方
- 2) 内容：精神疾患に関する正しい知識、病気の方やご家族の体験談、福祉制度の解説
その他、ピアサポート、薬、精神保健福祉や社会資源等の最新情報などを掲載。
- 3) 様式：B5版64頁
- 4) 発行部数：毎月10,000部×12回

○啓発冊子「こころの元気+」

- 5月号 特集「つらくて泣いています」
- 6月号 特集「役所のことで苦労しています」
- 7月号 特集「看護師さんは何をしているの？」
- 8月号 特集「ペットに癒やされたい」
- 9月号 特集「仲間の会のことを知りたい」
- 10月号 特集「決めつけないでください」
- 11月号 特集「正しい薬の減らし方」
- 12月号 特集「やめたくてもやめられない」
- 1月号 特集「安心して暮らしたいな」
- 2月号 特集「病名はどうやってつけてるの？」
- 3月号 特集「消えてしまいたい・逃げ出したい」
- 4月号 特集「食べること動くこと」

(別紙5)

②ピア・ネット・ワーキング・プロモーション研修会の開催

- 1) 対象：精神疾患の当事者
- 2) 内容：孤立しがちな当事者が他の当事者と情報や経験を共有する機会を提供し、全国で広まりつつあるピア活動のネットワークを作る。

プログラム 第1部 活動報告(ピア活動をしている個人や団体の活動紹介)

第2部 ワークショップ(「言いつぱなし&聞きっぱなし」を体験)

(※言いつぱなし、聞きっぱなし：何でも話し放題や意見を言ってはいけないということではなく、「個人攻撃をしない」、「話をしている人を妨げない」、「話されたことは全部、会場に置いていき、後で蒸し返さない」などのルールに沿って行う。)

- 3) 時期：年間8回(7.11.1.2.3月に開催)

- 4) 場所：日本全国8カ所にて開催

(埼玉、北海道、広島、栃木、沖縄、兵庫、西東京、東東京で開催)

○第13回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 埼玉

日時：平成26年7月15日

会場：川口総合文化センターリリア 11階 大会議室
(埼玉県川口市川口3-1-1)

参加者：44人



○第14回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 北海道

日時：平成26年11月28日

会場：かでの2・7 1060会議室

(北海道札幌市中央区北二条西7丁目)

参加者：38名

(別紙5)



○第15回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 広島

日時：平成27年1月15日

会場：中特会館ビル3階 中会議室

(広島県広島市中区鞆町3-57)

参加者：40名



○第16回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 栃木

日時：平成27年1月27日

会場：宇都宮保健所 大会議室

(栃木県宇都宮市竹林町972)

参加者：50名



(別紙5)

○第17回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 沖縄

日時 : 平成27年2月3日

会場 : 那覇市上下水道局「みずプラッサ」B棟3階 厚生会館
(沖縄県那覇市おもろまち1-1-1)

参加者 : 66名



○第18回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 兵庫

日時 : 平成27年3月2日

会場 : 神戸市労働会館 4階講習室 403 & 404
(兵庫県神戸市中央区雲井通5-1-2)

参加者 : 77名



(別紙5)

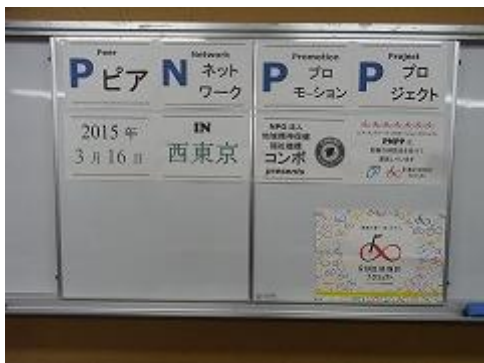
○第19回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 西東京

日時：平成27年3月16日

会場：三多摩労働会館 大会議室(3階)

(東京都立川市曙町2-15-20)

参加者：31名



○第20回ピア・ネットワーキング・プロモーション研修 in 東東京

日時：平成27年3月31日

会場：かつしかシンフォニーヒルズ 別館5階会議室「レインボー」

(東京都葛飾区立石6-33-1)

参加者：44名



2 予想される事業実施効果

①精神障害啓発冊子の作成・普及

これまで精神科医療は「管理」の歴史であり、「管理されるべき対象」であった当事者は、「あらゆる可能性をもった人たち」と自分が人生の主役であると認識が変わってきた。当事者や家族は人生上のチャレンジを指向するようになり、支援者たちの立ち位置も、本人の可能性を活かすものへと変わっていく。この事業を継続的に行うことで、リカバリー指向がさらに拡大し、日本社会に貢献するものと思われる。

近年、新聞やテレビ、インターネットなどでメンタルヘルス精神疾患の関連ニュースが取り上げられることが多くなり、社会が精神障害に対する関心が高まってきたことを実感している。しかし、同時に科学的な根拠に乏しい情報も見受けられ、その情報の信憑性や信頼性を判断する力が重要となっている。

啓発誌「こころの元気+」も創刊してまもなく100号を迎えるが、これまで精神疾患の当事者本人の姿や体験談をはじめ、科学的な根拠に基づく有益な情報を数多く提供してきた。今後も、さらに正しい知識の普及啓発と精神障害者への認識不足や誤解を払拭することを目指して事業を継続することで、精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会のしくみづくりという社会的課題の達成を目指す所存である。

②ピア・ネットワークキング・プロモーション研修会

ピアサポートグループの目的は、当事者同士の互助・当事者自身が管理・運営することで当事者が元気になること、病気を持っていてもリカバリーすることである。横のつながりを持つことで孤独感が和らぎ、自己肯定感を得て、それぞれがリカバリーにつながっていく。しかし、自主的な活動では限界があり、当事者同士が一箇所に集まることができず、視覚化、ネットワーク化されることもない。

神奈川県で開催した2011年度第2回研修会参加者より、ついに自分でグループを立ち上げたとの連絡が届いた。この研修会は「エンパワーメントの種まき」であると考えているが、芽が出るまでの時間はそれぞれであることを改めて実感している。このグループの世話人は自分の体調と相談しつつ、4年かけて、情報集めをし、行政関係者に相談するなどして地元でのネットワークを広げていった。現在は主に広報面で協力しているが、これはこの研修会への参加が世話人自身のリカバリーのプロセスにおいて、重要なステップとなったこと具体例である。今後、さらにグループを立ち上げていく方々が増えていき、ピアサポートのネットワークが広がっていくことを期待している。

今後さらに更に事業を継続することで、カウントされない社会的ひきこもりの当事者、社会から認知されていない各ピアサポートグループが研修の場で出会い、ネットワーク化、視覚化されることで、地域社会とのつながりを持つようになる。当事者が社会の中で安心

(別紙5)

して主体的に暮らしていく地域ができあがり、精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会のしくみづくり、社会的課題の達成に近づくとと思われる

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

https://www.comhbo.net/?page_id=104

1) 啓発冊子「こころの元気+」 毎月10,000部×12ヶ月発行



啓発誌「こころの元気+」5月号



啓発誌「こころの元気+」6月号



啓発誌「こころの元気+」7月号



啓発誌「こころの元気+」8月号



啓発誌「こころの元気+」9月号



啓発誌「こころの元気+」10月号



啓発誌「ココロの元気+」11月号

啓発誌「ココロの元気+」12月号

啓発誌「ココロの元気+」1月号



啓発誌「ココロの元気+」2月号

啓発誌「ココロの元気+」3月号

啓発誌「ココロの元気+」4月号

(2)(1) 以外で当事業において作成したもの

https://www.comhbo.net/?page_id=2433

1) ピア・ネットワーキング・プロモーション研修会

- ・ 開催案内チラシ
- ・ 当日配布資料

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 特定非営利活動法人 精神保健福祉機構
(チイキセイシンホケンフクシキコウ)

住 所： 〒272-0031
千葉県市川市平田3-5-1 トノックスビル2F

代 表 者： 代表理事 大嶋 巖 (オオシマ イワオ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 寺本 育男 (テラモト イクオ)

電 話 番 号： 047-320-3870

F A X： 047-320-3871

E - m a i l： pr@comhbo.net

U R L： <http://www.comhbo.net>